

# 教職協働によるキャリア形成支援科目 の実践と成果に関する事例

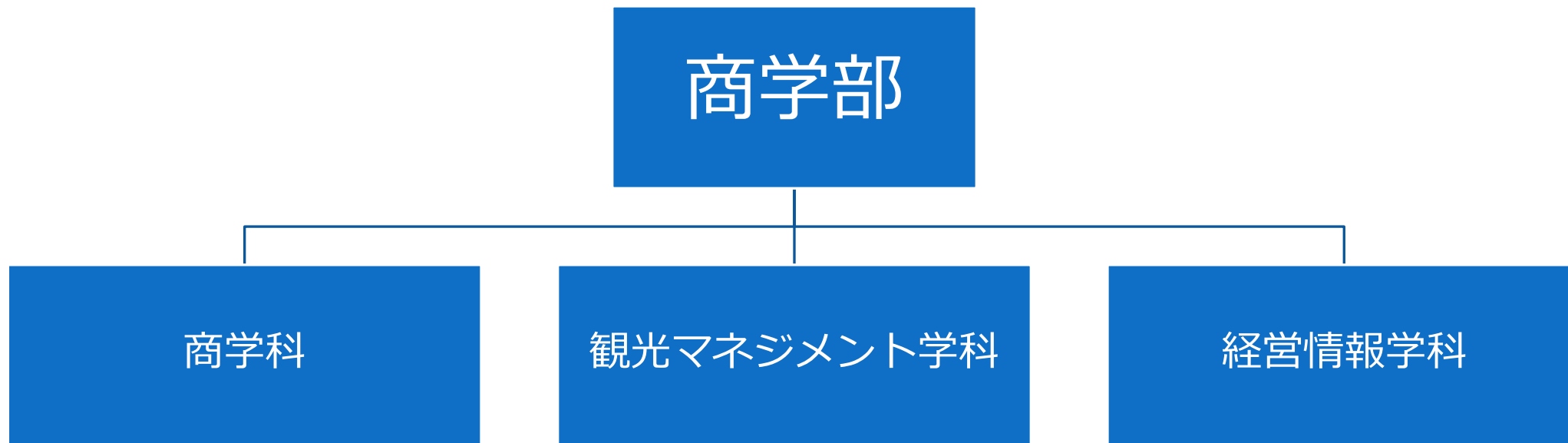
---

横浜商科大学

キャリア専門部会長・教授 柳田 義継

キャリア支援部 事務部長 一澤 佐江子

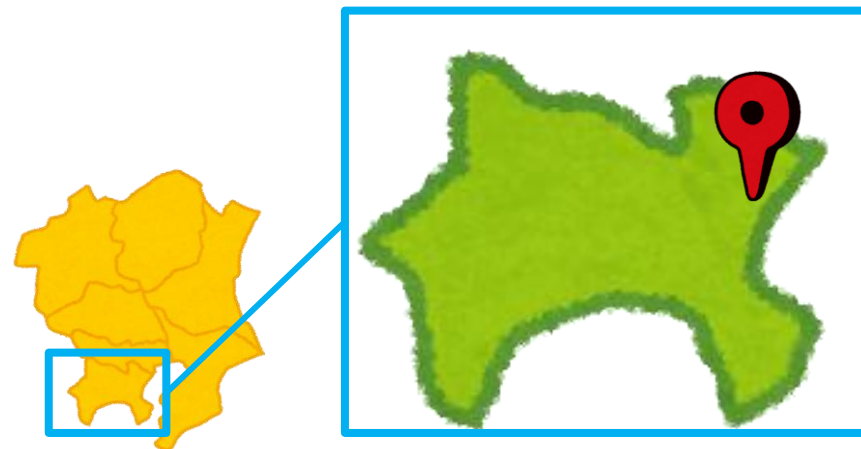
# 本学の概要



建学：1966年

学生数：1276名

所在地：神奈川県横浜市鶴見区



## 1966年開学時の建学の精神

# 安んじて事を托さるる人となれ

「商学教育の完成」を目的とした実学重視の実践的な学習を通じて  
「高度な専門知識」と「社会に奉仕する精神」を修得し、  
また托された責任をまっとうすることができる  
「使命感」と「責任感」をも身につけた人材の育成に努めています。

### 教育方針

1. 高度な専門的職業人としての知識の修得
2. 高潔な倫理的水準の維持
3. 職業に対する強い使命感・責任感の修得
4. 崇高な奉仕の精神の養成



# 検討の流れ

---

**2022年4月 中長期計画（後期）を掲出。キャリア教育の見直しが決定  
理事会の方針のもと、教員と職員が協働で、検討を行うこととなった。**

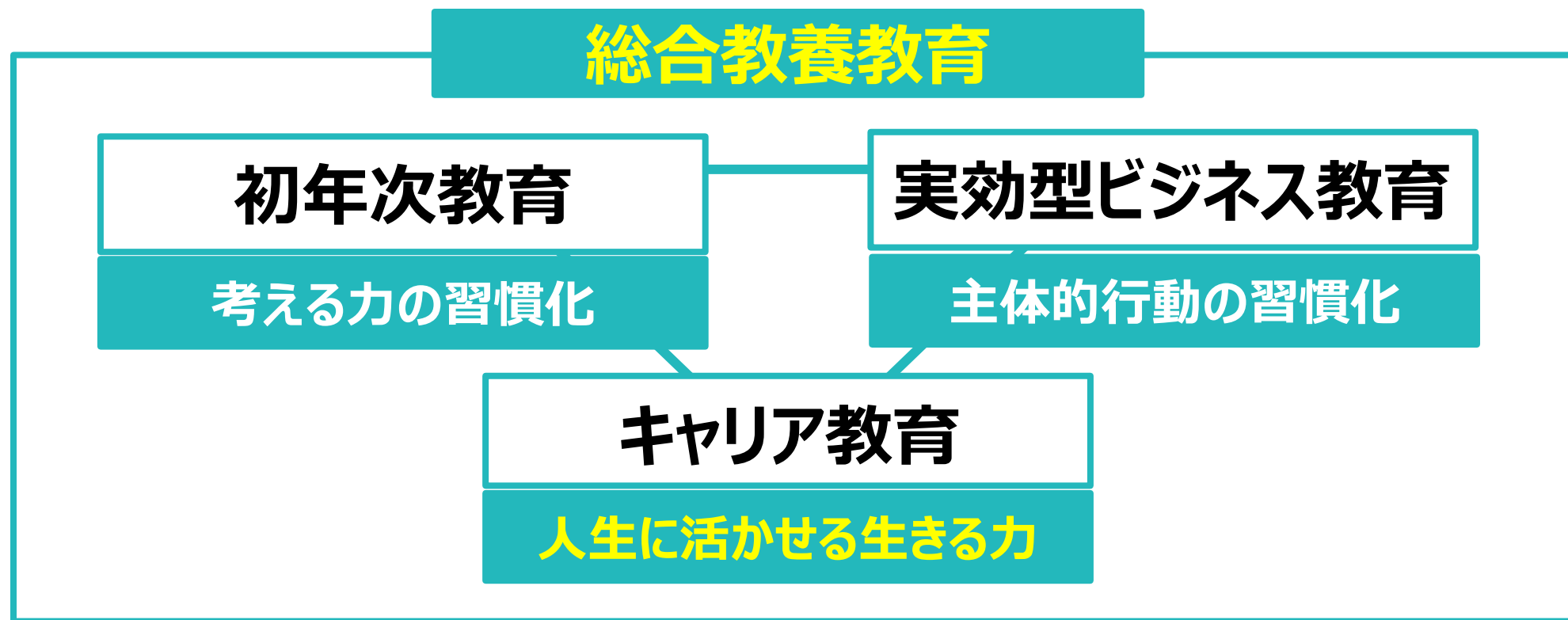
## 【具体的な内容】

- キャリア教育の再定義
- キャリア教育の望ましい体制の検討
- 包括的な支援内容の検討
- シラバス等の検討
- 科目コーディネーターと科目担当者との打ち合わせ、運用に向けた調整

**2023年4月 「キャリアデザイン」科目において、運用開始**

## 本学の教育と、キャリア教育の見直し

総合教養教育として「未来を生きるための『土台』を育む教育を行う」  
3本の柱の1つとして「キャリア教育」を抜本的に見直すことになった



# 総合教養教育におけるキャリア教育の役割

---

- 総合教養教育は、学生の卒業後までを見据えた形での学問的知識、  
**生きる上での知恵、卒業・就業時に必要な能力への自信を醸成すること**  
が目的である。
- 総合教養教育の習得は、**社会というフィールドを生き抜くための知識を**  
身につけることである。そして、**知識を活用するための能力を高める**  
ことが本学のキャリア教育の役割である。
- この実現に向けて、キャリア形成分野のあり方を抜本的に見直し、教学面  
においては**入学前から入学後、卒業に至るまでの間で一貫して支援する体系と**  
**体制**を必要とする。
- 総合教養教育とキャリア形成が連鎖することで創出する価値をステークホ  
ルダーへ周知することで大学としてのアイデンティティ形成と学生・卒業生を  
中心に本学へのエンゲージメント強化を進める。

## キャリア教育の再定義

---

本学の目指す**総合教養教育**において  
**「キャリア教育＝生きる力」**と定義

「人間力」（総合教養教育）×「生きる力」（キャリア教育）  
＝ **社会で活かせる学びを提供し、生きる力を育て育む**

※「生き方」を学ぶのではなく、自発的に生きるための知識・知恵を学ぶ。

# キャリア教育とキャリア支援の包括的な体制

## キャリア教育（授業）

メイン：教員、サポート：職員  
キャリアデザイン授業中心



## キャリア支援（授業外）

メイン：職員 サポート：教員  
学生相談・就職支援イベント中心



より良く

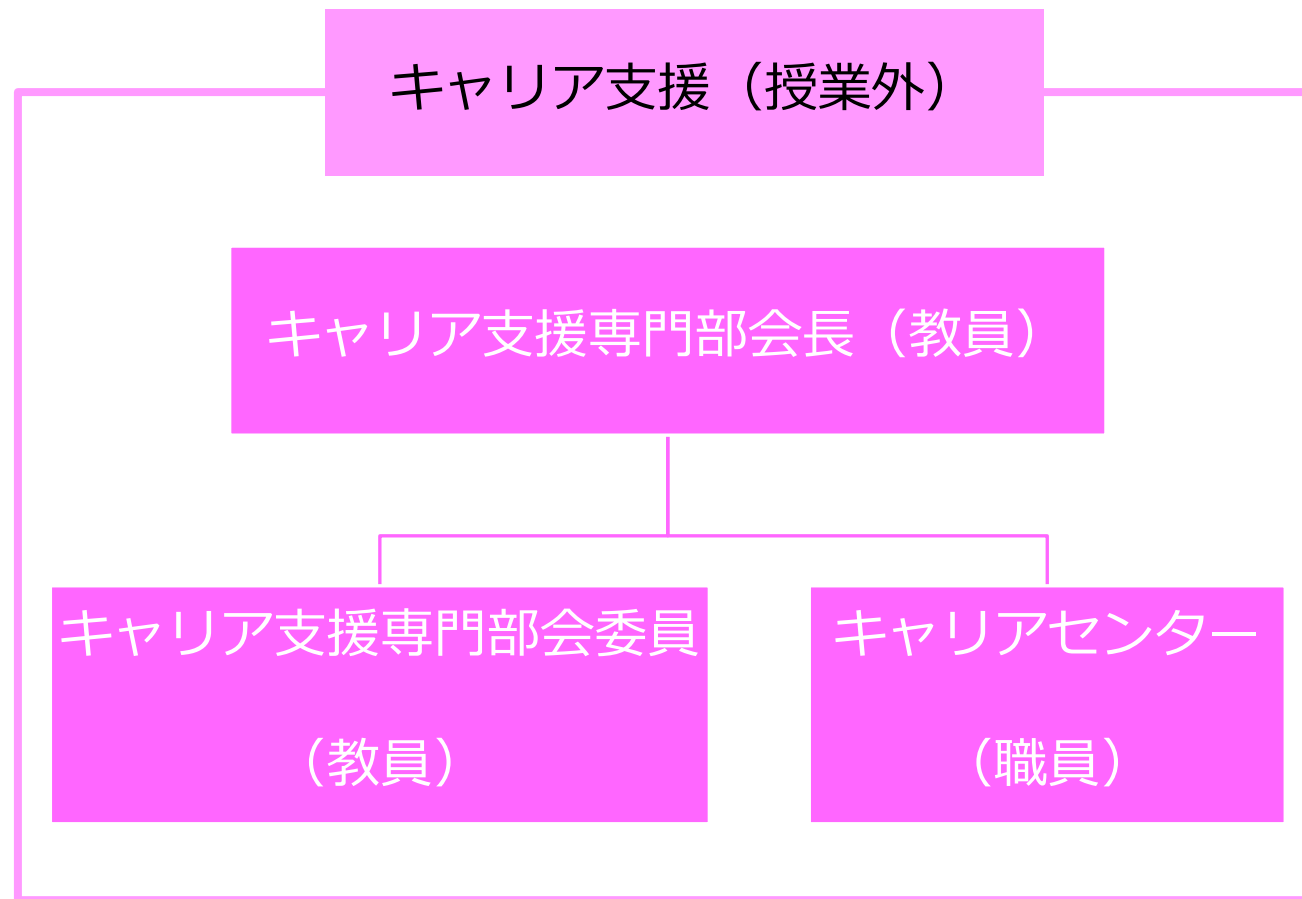
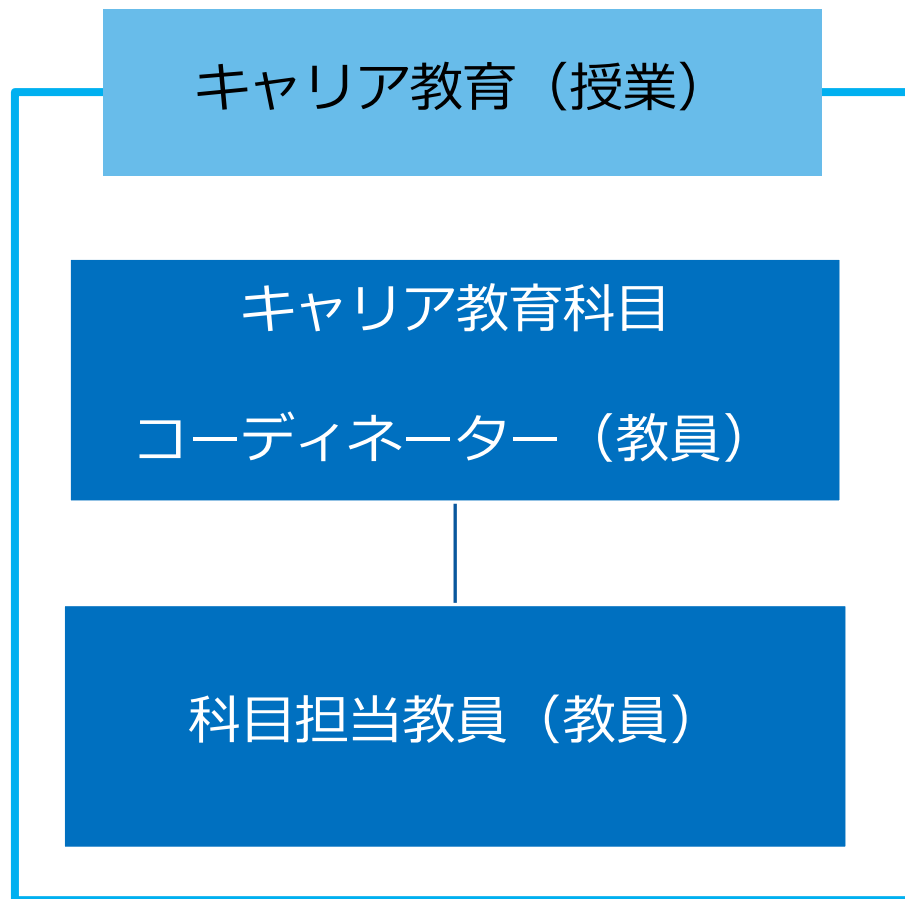
生きる力を  
育て育む

社会に適応してよく生きる

個性を生かしてよく生きる

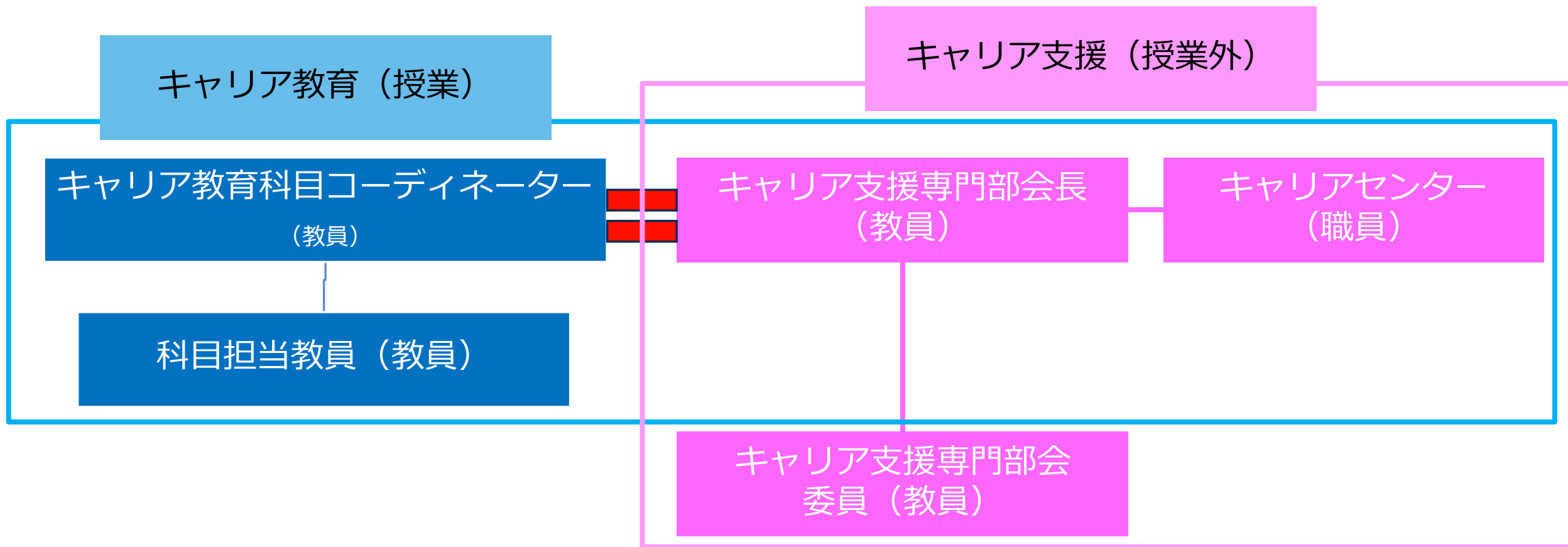
# キャリア教育・キャリア支援の体制の変更

変更前：授業内外の体制が別々だった ※一部の授業協力は行っていた



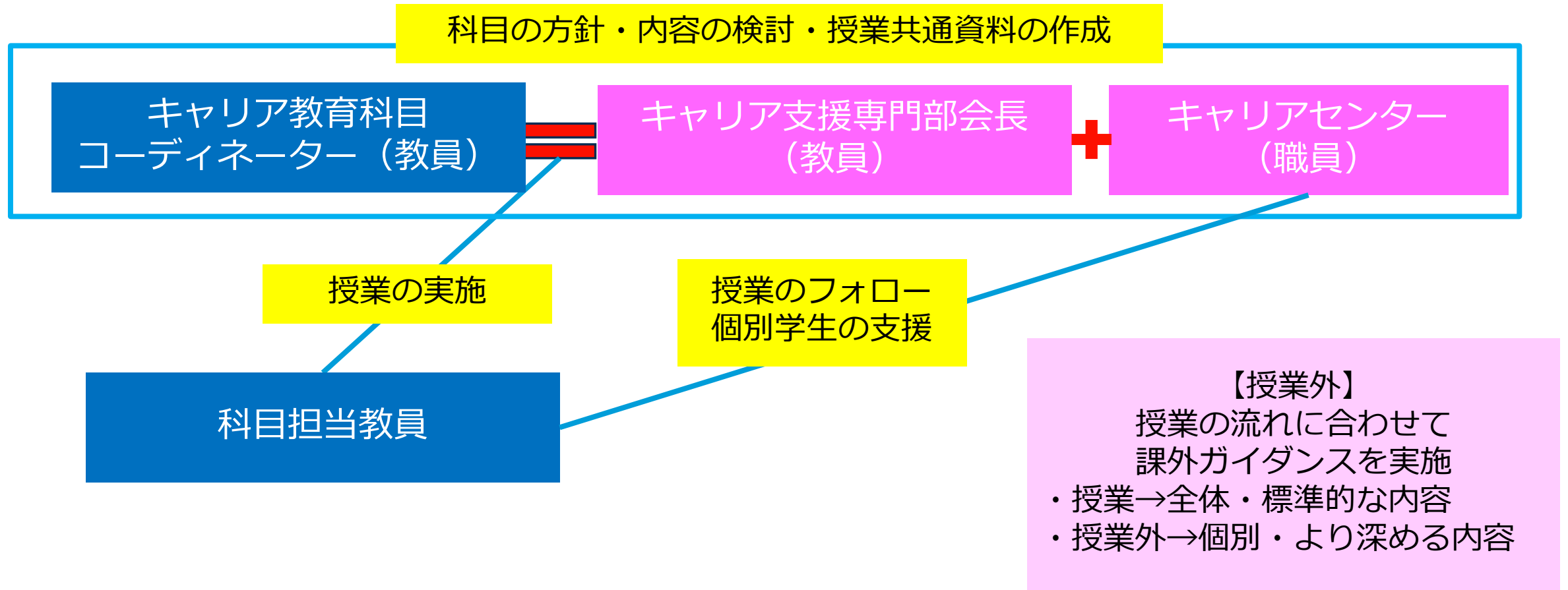
# キャリア教育・キャリア支援の体制の変更

変更後：それぞれの統括者を1人の統括に変更し、  
授業内外でキャリアセンターも関わることで、包括支援を実現



# キャリア教育（授業）の新体制

授業方針・内容を教職協働で検討し、共通資料を提供。科目担当教員が各クラスで授業を運営する  
授業の中で必須項目は提供し、ブラッシュアップやフォローを課外で行う



# 授業内外でのキャリア教育・キャリア支援

|     | 1 年 | 2年               | 3年        | 4年 |
|-----|-----|------------------|-----------|----|
| 授業  |     | キャリア 1, 2        | キャリア 3, 4 |    |
| 授業外 |     | 学内合同企業説明会（業界研究会） |           |    |
|     |     | 進路支援イベント         |           |    |
|     |     | 個別学生相談           |           |    |

**基本的な授業外ガイダンス・セミナーは、授業内に組み込み、全員に訴求する。  
授業外では、個別性を高くし、ブラッシュアップの機能を持たせる。**

# キャリア教育の授業「キャリアデザイン」

ライフキャリアから、ワークキャリアへ、  
長期的な展望から直近の進路（職業）選択に、焦点を絞っていく流れ

2年春：社会の中で生きる

2年秋：社会の中で働く

3年春：働く（進路選択）準備

3年秋：働く（進路選択）行動

**1クラス約35名**  
**2年 8クラス**  
**3年 8クラス**

# 2 年春学期 キャリアデザイン 1

## 授業計画

|    |                                                                             |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|
| 1  | オリエンテーション～キャリアデザインの必要性<br>授業の目標、授業の進め方                                      |
| 2  | なぜキャリアデザインが必要なのか<br>キャリアデザインの必要性を理解する                                       |
| 3  | 社会と自身の関係性（１）<br>人の一生を生涯発達の観点から概観する                                          |
| 4  | 社会と自身の関係性（２）<br>社会は、昔～今はどのように変化したのか。今後はどのように変わっていくのかを概観する                   |
| 5  | 社会と自身の関係性（３）<br>昔～今～未来 なくなる仕事、増える仕事について検討する                                 |
| 6  | 社会と自身の関係性（４）<br>変化する社会と自分との関係を考える                                           |
| 7  | 社会と自身の関係性（５）<br>様々な変化に対応しながら、社会で働く社会人の話を聴く                                  |
| 8  | 社会の中で生きるとは何か<br>社会人の話を受けて、自分史を作る作業、自分で進路選択をする、道をかंगाえていくことを知る               |
| 9  | 進路選択の仕方、プロセス<br>社会への移行にあたり、進路選択がある。進路を考える方法（自己理解、企業理解）や、意思決定のプロセスを知る        |
| 10 | 自己理解とは何か<br>自分らしい人生を歩む際の「自分らしさ」とは何か。経験の棚卸を通して、自分の特徴を知る                      |
| 11 | 将来をイメージする（１）<br>先輩から、進路選択の経験や、大学生活で役に立つことなどを説明してもらう。学生生活をどう過ごすかを、参考にしながら考える |
| 12 | 将来をイメージする（２）<br>求人を確認し、就職後のイメージを検討する                                        |
| 13 | 将来をイメージする（３）<br>自分の将来はどのようになりたいかを、イメージし、自身の大学生活を点検する                        |
| 14 | まとめ<br>半期の振り返り                                                              |

企業様のご協力

先輩学生のご協力

# 2 年秋学期 キャリアデザイン 2

## 授業計画

|    |                                                 |
|----|-------------------------------------------------|
| 1  | オリエンテーション<br>授業の目標、授業の進め方                       |
| 2  | なぜ働くのか<br>キャリアデザインの必要性を理解する                     |
| 3  | 卒業後の進路選択と就活<br>多様な進路選択、就活について理解する               |
| 4  | 自己理解（1）<br>価値観や大切にしていることを、経験から知る                |
| 5  | 自己理解（2）<br>仕事の興味関心をさがす                          |
| 6  | 働くことへの理解（1）<br>社会で働くことはどういうことか、社会人の話を聞いてイメージする  |
| 7  | 働くことへの理解（2）<br>業界、業種、職種について、また最新の動向を理解する        |
| 8  | 働くことへの理解（3）<br>地域差や環境の違いなど、多様な働き方をさらに掘り下げて理解する。 |
| 9  | 働くことへの理解（4）<br>労働条件、労働法などを理解する                  |
| 10 | 働く中で起きる様々な出来事と対処（1）<br>働く中で起きうる様々な転機について検討する    |
| 11 | 働く中で起きる様々な出来事と対処（2）<br>様々な出来事に対しての対処について検討する    |
| 12 | 大学生活と進路（1）<br>残りの大学生活をどのように過ごすかを考え、根拠をもって説明する   |
| 13 | 大学生活と進路（2）<br>残りの大学生活をどのように過ごすかを考え、根拠をもって説明する   |
| 14 | まとめ<br>半期の振り返り                                  |

企業様のご協力

# 3年春学期 キャリアデザイン3

## 授業計画

|    |                                                                   |
|----|-------------------------------------------------------------------|
| 1  | オリエンテーション<br>授業の目標、授業の進め方                                         |
| 2  | 仕事と進路<br>様々な進路や、就職活動の流れを整理する                                      |
| 3  | 進路とインターンシップ<br>進路とインターンシップの整理。マイナビの方から説明を受ける（外部講師登壇）              |
| 4  | 自己理解<br>コンピテンシー診断を行い、自己理解を深める                                     |
| 5  | 企業理解（1）<br>企業研究の方法を確認し、第7週の準備を行う（外部講師登壇）                          |
| 6  | 企業理解（2）<br>4・5週の学習をもとに、企業選択を検討する。第7週の準備を行う。                       |
| 7  | 学内合同企業研究会に参加する<br>学内合同企業研究会に参加し、企業を研究する（振替授業。詳細は授業内で説明する）         |
| 8  | 自己表現（1）<br>自己理解や企業理解を行ったうえで、文章で表現する。エントリーシートの作成方法について確認する（外部講師登壇） |
| 9  | 自己表現（2）<br>自己理解や企業理解を行ったうえで、文章で表現する。実際にエントリーシートの作成を行う             |
| 10 | 企業の求める人材を考える<br>企業研究会を振り返り、企業が求めている人材を検討する。自分と企業を結び付ける            |
| 11 | ビジネスマナー<br>就職活動などを含め、社会で必要なビジネスマナーを学ぶ                             |
| 12 | 夏休み以降の行動計画を立てる<br>今後の進路選択、卒業後の社会生活に向けて、具体的に行動計画を立てる               |
| 13 | SPI対策<br>SPI試験の説明と受検                                              |
| 14 | まとめ<br>半期の振り返り                                                    |

外部講師のご協力

外部講師のご協力

企業様のご協力

外部講師のご協力

# 3年秋学期 キャリアデザイン4

## 授業計画

|    |                                                                                |
|----|--------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | オリエンテーション<br>授業の目標、授業の進め方、当講義の到達目標について説明します                                    |
| 2  | 就職活動の整理<br>就職活動の「企業と実際に会う」活動プロセスを整理する                                          |
| 3  | 内定者の話を聴く<br>内定者の話を実際に聞くことで、スケジュールやプロセスを想像する                                    |
| 4  | 先輩の話の振り返りと、業界研究の整理・自己理解の整理<br>先輩の就活の話の振り返りと、業界研究方法および自己理解方法の整理をする              |
| 5  | 筆記試験対策<br>SPI対策を行う。春学期との比較を行い、自身の状況を整理する                                       |
| 6  | 筆記試験対策の振り返り・業界研究会の準備①<br>筆記試験の振り返りのほか、第8回の業界研究会の受講の仕方や当日までの準備を行う               |
| 7  | 業界研究会の準備②・企業説明会や面接の心構え<br>企業説明会や面接などの、様々な企業との接点を持つことがあるが、その際の心構えや、情報収集のポイントを知る |
| 8  | 業界研究会に参加する<br>実際に企業の話聞きます。自分の軸に合っている業界は何か、また、その仕事を自分が面白いと思えるか、を確認する            |
| 9  | 自己表現（1）<br>大学の履歴書を書き、すぐに使えるような状態にする                                            |
| 10 | 自己表現（2）<br>グループディスカッションの復習と実践                                                  |
| 11 | 自己表現（3）<br>面接対策を行う。面接とは何か、面接でどのように自己表現ができるかを、体験を通して学ぶ                          |
| 12 | 進路選択の困難への対処<br>進路選択の際に起きる困難への対処、考え方                                            |
| 13 | 内定後の心構え<br>就職後のキャリアの葛藤、リアリティショックなど、初期キャリアを中心に、就職後に起きる葛藤と、困ったときの考え方を知る          |
| 14 | まとめ<br>半期の振り返り                                                                 |

先輩学生のご協力

企業様のご協力

外部講師のご協力

## 授業の組み立て

- リフレクションの重要性 → 腹落ち、自分の血肉にする
- 理論と実践的な話を両方伝える → アカデミックな要素も重要

インプット（理論）

「生きる力を育てる」のサイクル

キャリア科目において、学生に「自分事化」を促す

アウトプット（実践）

リフレクション（内省）

# グーグルクラスルームを活用



Classroom > (準備用)キャリアデザイン1・2

2025

ホーム

カレンダー

指導科目

登録科目

ToDo

アーカイブされたクラス

設定

ストリーム

授業

メンバー

採点



第7回 課題「リアクションペーパー入力」

投稿日: 5月26日



第7回 課題1「ライフラインチャート」

投稿日: 5月26日



第6回 課題「リアクションペーパー入力」

投稿日: 5月20日



第5回 課題2「リアクションペーパー入力」

投稿日: 5月12日



第5回 課題1「課題の解決策について考える」

投稿日: 5月12日



もっと見る

## 授業資料



第9回 授業資料「社会と自身の関係性(5)」

投稿日: 昨日



第8回 授業資料「社会の中で生きるとは何...

投稿日: 6月1日



第7回 授業資料「社会の中で生きるとは何...

投稿日: 5月26日



第6回 授業資料「社会と自身の関係性(4)」

投稿日: 5月20日



第5回 授業資料「社会と自身の関係性(3)」

投稿日: 5月12日



## 取組の効果

---

「Career Action-Vision Test (CAVT)」という  
キャリア意識の発達に関する効果測定テストを用いて効果測定を行った。

- 授業1回目（初回）、14回目（最終回）に測定したところ、  
キャリア意識が高まっていることが示された。
- 通年を通してみると、春学期よりも秋学期の方が  
キャリア意識が高まっていることが示された。
- キャリアセンターと連動した支援によって、学内の合同企業説明会での接点作り  
や、個別支援においても、良好と言える変化が見られた。

その他、取組の効果については、当日詳細のデータをお伝えします。